

3・4年生学芸会台本

「ものの物語」

名前

定規	消しゴム母	えんぴつ5郎	えんぴつ4郎	えんぴつ3郎	えんぴつ2郎	えんぴつ太郎	子ども5	子ども4	子ども3	子ども2	子ども1	ヒロイン	ヒロイン人形	えんぴつ(オブ)
9	7	4	4	4	4	7	6	6	6	6	6	7	9	7
赤ペン	レゴ8	レゴ7	レゴ6	レゴ5	レゴ4	レゴ3	レゴ2	レゴ1	スリッパ	軍手	はし	くつした3	くつした2	くつした1
5	5	5	5	5	5	5	5	7	4	4	4	4	4	7
	先生(かけ)	母	父(かけ)	プラレール	トミカ	タブレット	ディーエス	スイッチ	スクラップ5	スクラップ4	スクラップ3	スクラップ2	スクラップ1	レゴ9
	3	3	3	4	4	4	4	4	6	6	6	6	5	5

序章 人形の願い

♪わたしの声

人形 「この物語が始まる前に聞いてほしいことがあるの。」

「わたしは人形。」

「あの女の子の人形よ。わたし、あの子がだいすき。」

「なんだかさいきん、まわりのおもちゃや、ものたちの様子がおかしいの。」

「まるで、人間におこっているみたい。」

「このままだとよくないことがおきる。そんな気がするの。」

「だからわたし、とめにいこうと思う。」

「みんなに聞いてほしいことはただ一つ。」

「人間にも。ものにも。心はある。愛はある。」

第一章 (文房具の世界)

♪チャイム あかりはスポットのみ

舞台下では、先生、子ども1〜5が勉強をしているようす。

自然なふだんの生活をえんじる

子ども1が勉強をしていると、えんぴつがおちてしまう。

子ども1「あ、えんぴつおちちゃった。ま、いっか、こっちの新しいの使おうっと。」

♪転がる音、ぶつかる音

→と同時に、舞台そでからえんぴつOPがあわてて出てくる

えんぴつ「あーいたたたた！まったく、あつかいがひどい！……はっ！（えりを直して）

みなさん、はじめまして。わたし、えんぴつです。え？ものが話すって？なぜおかしい

のです？ものは話さないのでしょうか。ものには心がないのでしょうか。みなさん、

知らないのですか？あるですよ、ものにも心が。お話だつてするのですよ。

それはそうと、実はわたしたち、おこっているのです。だれにとって？

もちろん、あなたたち、人間にですよ。え？知らないって？

わたしの頭をガリガリガリってはものでけずったり、

力を入れ過ぎてボキッておったりするくせに……（指差して）

でも、わたしがおこっているのはそんなことはありません。

まだ、わかりませんか……。いいでしょう。とくべつですよ。あなたたち人間を

私たちものの世界へあんないしましょう。ちゃんと見てくださいよ。ものたちが、何を

考え、何におこっているかを。」

ここで幕があく、舞台上がふでばこの中の世界、下は現実の世界

現実の世界の動き
子ども12345、
休み時間の動きをつづける
声は0で

えんぴつ達がしよくたくをかこんでいる

太郎「消しゴム母さん、ごはん」

消し「はいよ、もうあんた、3ばいも食べて。」

2郎「しょうがないよ、人間たちがやたらと兄さんを

使ったもの。」

3郎「兄さん、すごい人気だもんね。」

太郎「へへ、おかげでこんなにへっちまったけどな。」頭おさえて

しばらくの間 食べるえんぎ

4郎「そういえばさ、最近スクラップ団っていうわるいうやつら

がいるってうわさがあるんだけど、しっている?」

5郎「スクラップ団?」

4郎「うん、かんたんというと、ものさらいだよ。」

消し「ものさらい、わたしたちをどこかへつれていくのね・・・

ぶっそうだわ。」

5郎「へっへーお前のことをさうっていくぜー!」

3郎「きゃーやめてー、みたいな?」

2郎「あほらし・・・」この後、かんたんなぎつだん

♪チャイム

子ども12345席につく
先生が入ってくる

全員「チャイムだ！」

消し「始まるわよ！みんな位置について！」

全員「おお！」

♪チャイム（はげしい、メロディーのヘビメタチャイム）

えんぴつ全員、5れつによこにならぶ

子どもがふでばこをあけたら、照明強めになり、

全員「まぶしー！」

♪カーレースの音

定規「さあ、やってまいりました、きんちょうのしゅんかん！

今日は、一体だれがえらばれるんでしょうか、わたくし、

テストではまずつかわれることのないじょうぎが、

じょうぎだけに、じょうぎげんで、実況をしていきたいと

思います。さあ、今日はだれとだれをだれにだれがえら

ばれるのでしょうか。どうでしょうかね、赤ペンさん。」

赤ペ「テストですからね、使いやすいえんぴつか、新品のどがった

えんぴつか、なやむところですね。」クールに

定規「おっと、きまったようです。」

♪ドラム音

定規「やっぱり兄だー！」太郎くるくるとまわりながら下手へ

太郎以外「にいさーん！」

現実の世界の動き

先生「今からテストをはじめるぞー。えんぴつを用意しろー。」

子1「はい。」

つくえからふでばこを出す

ふでばこをあける♪パカ

しばらくどのえんぴつを使うかなやむえんぎ
声を出しても良い

ドラム音の最後で、えんぴつをえらぶ

ふでばこをとじる

赤ペ「使い古したえんぴつが一番使いやすいですからね。」

定規「おっと、消しゴムお母さんがいきなりけしようをはじめた

ぞ、いったい何が始まろうとしているのか。

おっと、人間がまちがえたようだ。

消しゴムさん、もうれつないきおいで走っていったー。」

えん「かあさーん！」

赤ペン「人間はいったい何をまちがえたんでしょうね。」

定規「帰ってきたー！母さんはやい帰りだ。じゃっかんけしようが

おちております。あわててけしようをはじめます。」

あーっとまた人間がまちがえたようだ。消しゴムさん、

ダッシュです！」

えん「かあさーん」

定規「もどってきた、母さん、やはりけしようがおちている。

あーっとまたまた出番です。

もはやけしようをしている時間がない。そのままいったー」

えん「かあさーん」

赤ペン「ピンチですね。人間もピンチそうです」

定規「おっと、ここまでまさかのじたい！

人間がえんぴつと消しゴムをなげてあきらめてしまったー！

おちた二人はいったいどうなるのか」

暗転 バックイラストが教室のゆかにかわる

子1「あ、まちがえた。」

消しゴムを出す

消すえんぎ

ふでばこにもどす

子1「またまちがえた。」

消しゴムもって消す

消すえんぎ

ふでばこにもどす。

子1「あ、ここもまちがえてい
る。」

消しながらだんだんイライラ

子1「もうわかんない！

やーめた！」

えんぴつ消しゴムを

おとしてねる

えんぴつぜんいん一度下手にはける

♪チャイム

消し「ここは、どこ？」

太郎「つくえの下の世界みたいだ。ぼくたちは落とされたんだ。」

消し「どうしてひろってくれなかったのかしら。」

太郎「だいじょうぶ、すぐに主人がひろってくれるさ。」

♪スクラップ

消し「何？この音は？」

スクラップの歌（クイーンの曲にあわせて）

スクラップ

スクラップ

おまえらみーんなスクラップ（声出しリーダー）

人間達に わすれられ

おれらのいかりでスクラップ はい！

スクラップ

スクラップ

消し「やめて！すてられてなんていないわ」

ス1「じゃあ、なんでむかえがこない？」

ス2「じゃあ、なんで落ちたまま？」

ス3「じゃあ、なんでみつからない？」

ス4「なんで」（小）

先生「そうじの時間だぞー」
子12345「はい。」
手にほうきをもってゆかをは
いている。

この音とともに動きをピタッ
としばらく止める

ス5 「なんで」(中)

ス全 「なんで、わすれられた？」(大)

太郎 「それは・・・」

消し 「わたしたち、わすれられたの・・・ひどい！」

太郎 「使いたいだけつかって、さいごはポイかよ！ゆるせない！」

スクラップの歌2

スクラップ

スクラップ

おまえらみーんなスクラップ

おれらといっしょにスクラップ

いこうぜいっしょにスクラップ はい (さそうようなしぐさ)

スクラップ (ここであつてつくって下手にはけようとする)

スクラップ

消し 太郎 おそろおそろ うしろについていくうしろにならぶ

スク4 「あ！たいちょう！むこうにわすれられたものを発見」

スク5 「いざ！」

全 「スクラップ！」

スクラップ！ スクラップ！ (言いながら下手へはける)

暗転

人形が上手から出てきて、ためいきをついて下手へ

動きをはじめる
子1、ほうきを手にしながら
「あれ？ぼくの大事な消しゴムとえんぴつがない。どこいったんだろう？」

第二章（かたほうの世界）

ステージ上に かたほうぶたい待機

♪おうちの音楽

子2 「ただいまー！」

母 「あら。おかえり、あんた
さ、はし、1本足りない
だけど、知らない？」

子2 「しるわけないだろ！」

父 「とうさんの軍手も1そく
足りないんだが、知らん
か」

子2 「しるわけない。」

母 「まあいいわ、おやつある
から、その前にきがえて
きなさい。」

父 「あ、母さん、とうさんの
くつしたもそういえば」
母 「知るわけないでしょ！」

洗濯スペースにいき、

くつしたをぬぎながら
子2 「全くだよ、はしの1
本やてぶくろの1つや

ふたつでうるさいなあ。
どうでもいいじゃん。」

くつしたをすきまに
なげる

子2 「あ、くつした片方すきま
に、、まあ、あとで
いっか。」

下暗転

バッグ、真っ暗、ステージ上も少しくらく

くつ下1、上手からころげおちてくる

くつ1 「いたたた！ちょっと、ごしゅじん！」（上手にむかって

あたりをみまわす。

くつ1 「あれ？ここは、どこだ？」

あたりにいるくつしたをさわると

くつ2 「ほう」とおきめがり、しびのくつしたをさわると

くつ23 「ほう」・・・と「羽ずつつぶておきめがる群読

全員が「ほう」とおきあがったらミュージックスタート

♪ 音楽（暗い感じの音楽）アンドダンス

かたほうの歌

かた ほう（ほうはうら声）つばさをあげて

かた ほう

かた ほうほう

くつした おはしも かたほうほう

軍手も スリッパ かたほうほう

かたほう さがして かたほほう？

ほう ほう ほほう

かたほうほう

くつ1 「君たちはだれ？ここで何をしているの？」

くつ2 「ここはかたほうの世界」

くつ3 「わたしたち、さがしているの」

くつ1 「なにを？」

スリッパ 「もうかたほうを」

はし 「だからこうしてはばいて、ここから出ようとしているんだけど。」

くつ2 「つばさがかたほうしかないから、とべないの。」

全員 「ほうほうほほうかたほうほう」※超高速でくるったように3回

（はばきながら全員その場をぐるぐるまわる）

くつ1 「とぶも何も、ぼく、今あそこからなげられたんだ。あるいていけるよ。ついてきて」

片方集団「ほほほほう？」一羽ずつ止まったあとに「ほうほう」

れつをつくって歩き始めると

くつ2「あ！まって！人間がきたわ！みんな！気づいてもらおう。」

全員「おおーい！ここだよー！」

全員 ほうほうダンスでもうアピール

時間があれば、コントやまんざいを

してアピールをしてもよい。

例…コント、シーソーが片方しか

なかったら・・・ドスン！みたいな

くつ3「ああ、なんで気づいてくれないのかな？」

スリパ「まって、何かきこえる！」

はし「そうじき・・・の音かしら」

♪スクラップ 消しゴム母と、えんぴつ太郎も参加

くつ2「何？この音は？」

スクラップの歌（クイーンの曲にあわせて）

スクラップ

スクラップ

おまえらみんなスクラップ（声出しリーダー）

人間達に わすれられ

おれらのいかりでスクラップ はい！

母、そうじきかけながら
「あなた、せんたくもの、せん
たくきから、だしておいてね」
父「つたく、めんどくせえな！」

しばらくせんたくきからせん
たくものを出している。

行ってしまう

母しばらくそうじきをかけて
いる

ここでピタ。

スクラップ

スクラップ

スリパ「やめて！すてられてなんていないわ」

ス1「じゃあ、なんでむかえがこない？」

ス2「じゃあ、なんで落ちたまま？」

ス3「じゃあ、なんでみつからない？」

ス4「なんで」(小)

ス5「なんで」(中)

ス全「なんで、わすれられた？」

くつ1「それは・・・」

くつ2「わたしたち、わすれられたの・・・ひどい！」

はし「もう片方がまっているのに、ゆるせない」

スクラップの歌2

スクラップ

スクラップ

おまえらみーんなスクラップ

おれらといっしょにスクラップ

いこうぜいっしょにスクラップ はい(ちそうようなしぐさ)

スクラップ (ここであつをつくって下手にはけようとする)

スクラップ

かたほう隊、おそろおそろ うしろについでうへうしろにならぶ

スク4 「あ！たいちょう！むこうにわすれたものを発見」

スク5 「いざー！」

全 「スクラップ！」

スクラップ！ スクラップ！（言いながら下手へはける）

暗転 人形にスポット

人形 「また、間に合わなかった・・・」

「早く止めないと・・・」

子2もどつてきて
せんたくきのうらに手をのば
して

「あれ？さっきここになげた、
くつしたないや。どこへいった
のかな？あれ、お気に入りなん
だけど・・・」

第三章（使われなくなったものの達の世界）

れご1から9をおしのけて、どっかりすわる三人

タブ「いやいやいや、レゴ君たち、いつもすまないね。」

DS「君たちのベットをわれわれでせりょうして

しまつてね。」

スイ「なにせ、われわれ人気者（強調）なので、いそがしいからね。」いやみったらしく

タブ「ああーそこ、ちょっとどいてね、われわれ、充電しなくちゃいけないから」

DS「いやあ、今日もたくさんさわってもらっちゃったな。」

スイ「だな。やっぱりものはつかわれてこそ、しあわせだよな。」

三人「あははははは」

子3 子4 子5で
家の中でタブレット、3DS、ス
イッチをしている。
子3「やっぱりかキン最高だ
わ！まじつぼった」
子4「いやいや、このホッケと
モンスターこそ、最高のゲーム
だよ。」
子5「何言ってるの、一番人気
はスマッシュスターズでし
よ。」
子3「あ、おれ充電切れ」
子4「おれも」
子5「おれもだ。」
子3「どうする？レゴでもす
る？」
子4「うーん、おれ、パス」
子5「おれも。」
子3「じゃあ、テレビでもみる
か。」
子45「うん」
テレビを見ながら、ゲーム機に
コードをさしていく

タブ「しかし、あれですな。働いたあとの電気はさいこうですな。」

DS「まったくその通りですな」

スイ「けっきょく中にいれれば同じですけどな!」

三人「ははははは」

コンセントさしたら、見事にわらいをとめて

「充電中・充電中・ただいま充電中・・・」とくりかえす。

三人の様子をみて、レゴ達がたちあがり、レゴ1をかこむ

♪ワルキューレ（ワーグナー）

レゴ2「レゴ隊長!」

レゴ3「われわれはくやしいであります!」

レゴ全「くやしいであります。」

レゴ4「新しく来たあいつらに」

レゴ5「いばしょをうばわれて」

レゴ6「人気もうばわれました。」

レゴ7「かくなるうえは」

レゴ8「人間達にわれわれのビューティフルな合体わざを」

レゴ9「みてもらいましょう。」

レゴ1「ううーむ」

レゴ2「レゴ隊長!」

レゴ3「思い出させてやりましょうよ!」

レゴ4「われわれの楽しさを!」

レゴ5 「カチッとはまったうれしさを。」

レゴ6 「できあがった達成感を。」

レゴ7 「さあ、みせてやりましょう！」

レゴ8 「われわれのトレンディーな合体技を！」

レゴ9 「レゴ隊長！」

レゴ全 「レゴ隊長！」

レゴ1 「そうだな、われわれのビューティフルかつトレンディーな合体わざを見せれば

人間達もわれわれの楽しさを思い出すやもしれん。いっちょやってやるか！」

レゴ全 「おお！」

♪戦隊モノ

「へんけいがったい！」

「

「・・・みてくれなーい！」ひざをついてくずれる

レゴ1 「次！」

「へんけいがったい！」

「

「みてくれなーい」

レゴ1 「次！」

「へんけい合体！」

「

「みてくれなーい」

子どもたち、
ふつうにてれびをみている。

トミ「もうやめなブー」

プラ「ぼくたちの時代は終わったんだガタンごん」

トミ「むかしはよかったぶー」

プラ「なんで遊んでくれなくなったんだごん」

トミ「人間はひどいぶー」

プラ「もう、ぼくらのことなんていらないがたんごん」

♪スクラップ 消し母 太郎 かたほう軍団参加

トミ「おや、なんか聞こえるブー」

プラ「はげしい音だがたんごん」

スクラップの歌（クイーンの曲にあわせて）

スクラップ

スクラップ

おまえらみーんなスクラップ（声出しリーダー）

人間達に わすれられ

おれらのいかりでスクラップ はい！

スクラップ

スクラップ

トミ「君らは最近有名なスクラップ団だぶー？」

母「あんたたち、そろそろそこ
片付けて、そとで遊びなさいよ
ー」
子345「はい」
かたづけるそぶり
そして、ゲームだけをもってい
ってしまふ。

プラ「ちょうどよかったがたんごん。」

トミ「ぼくたちも仲間にいれてほしいブー」

プラ「ちょうどさけびたかったんだがたんごん。」

レゴ2「われわれも入れてほしいであります。」

レゴ全「いれてほしいであります。」

サングラスをそうやくしたり、ぶきをひろったりして、まをとる

スク1「さあ、これだけそろった！」

スク2「いよいよだ。」

スク3「いよいよ会いに行ける」

スク4「わたしたちをわすれた」

スク5「われわれをスクラップにした」

スク1「人間達に！」

全「人間達に！」

子3「ただいまー」

子3「あれ？おかしいなレゴがない。あそぼうと思ったのに。」

子3「あーレゴで遊びたい！」

人形「はあはあ、また間に合わなかった。」

人形「すれちがっているだけなのに・・・どうして。」

人形「今度こそ！」

第四章（最終局面とフィナーレ）

暗転 ♪ 不安な音楽 ステージ上が学校にかわる 背景

♪ チャイム

子1 「なあなあ、俺、最近きになることがあるんだ。」

子2 「なんだ？」

子1 「なんかさ、おれたちのまわりから、ものがなくなっているような気がするんだよね。」

子3 「あ、それうちも。」

子4 「なくしたたとかじゃなくて？」

子1 「うん、なんかさ、本当に消えているっていうか。」

子5 「それ、うちもだわ。すごいかわるものがなくなった気がするんだよね。」

子2 「そういえば、うちもくつしたとか、色々なくなったような。」

子3 「うちもだ・・・レゴとか、トミカとか・・・こわいね。」

子4 「まあ、気のせいだよ。楽しいこうぜ。」

子全 「う・・・うん。」

スクラップの歌

スクラップ

スクラップ

おまえらみんなスクラップ（声出しリーダー）

人間達に わすれられ

おれらのいかりでスクラップ はい！

ステージ下は
女の子の世界、
イスと人形をだいてすみのほうに
いる（人形にはマイクをしゃこんで）

スクラップ

スクラップ

歌いながら子1〜5をかこんでにおうだち

子1 「き、きみたちは、もしかして」

太郎 「よくも、すてくれたな！」 1歩前へ どん

くつ1 「どうしてひろってくれなかったんだ！」 1歩前へ どんどん

レゴ1 「どうしてあそんでくれなかったんだ！」 1歩前へ どんどんどん

スク1 「わすれたものは、しだいにきえてなくなってしまう。」

スク2 「お前達人間は、わすれすぎだ！」

スク3 「だからこうして」

スク4 「会いにきた。」

スク5 「むりやりにでも」

スク1 「思い出させるために！」

全 「思い出させるために！」

スクラップの歌を歌いながら

武器をシャキーンと人間にむけて少しずつつめよっていく。

子全員 「うわー！」 暗転

人形 「まって！・・・やっと、やっと間に合った。」 全スポット、人形へ

歌 「わたーしーはーにんぎょーう あーのひーとーのーたからーもの

たいーせつーにされてた あいをしーっている」 いけたら続きも

人形 「人間みなさん、かれらの気持ちにきづいてあげてください」

話すたびに全員、もっているほうきなどのぶきを下にどんどんとりズムよくたたく。

人形「みんな、たださみしいだけなの。」

人形「わすれてほしくないだけなの。」

人形「そして、みなさんも思い出してください。人との温かい思い出を。」

歌 「こころが叫びだす あなたの名前」

歌を流しながら、

ヒロ「あら、どうしたの？さみしそう・・・うん、伝えたいことがあるんだね。わかった。一緒にうたおうか。」

背景VTR（3・4年生がものと一緒に笑顔で映っているもの）

太郎「おれ、こんなに小さくなるまで、大切に使ってくれた。」

くつ「片方をとっておいてくれるってことは、もう片方をさがしてくれているからだ。」

レゴ「すごい作品・・・時間かかっただろうな。」

子1「ごめんよ。おれ、なんですぐにさがさなかったんだろう。」手をとりあい

子2「もう、かたほうだけにしないよ。」

子345「まだまだ、おもちゃでも遊びたいよ！」

人形「ものと人には思い出がある、それを大切にし続けることができれば、ものはずっと人のそば

にいられるの。さあ、みんなで手をつないで。」

全員武器をゆっくりおく

もの代表「人を」人代表「ものを」全員「いつまでも！」

歌 「こころが叫び出す あなたの名前」※できたら きびしければかたほう

歌いながらカーテンコールをしていく